

柿出荷スタート

伝統「蓮台寺柿」
ぜひ一度食べて

三重・JA伊勢

【三重・伊勢】伊勢

市藤里町にあるJA伊勢蓮台寺柿共同選果場で26日、伊勢市の天然記念物「蓮台寺柿」の出荷が始まった。選果担当者が「蓮台寺柿」を一つずつ手に取り、形や傷の有無を確認した後、大きさに別箱詰めして出荷した。出荷は11月中旬まで続く。24日には出荷に向けた目ざろえ会を行った。部会員、同JAやJA全農みえの職員、市場関係者ら37人が選果の規格を確認した。同JA担当者は「蓮台寺柿は歴史のある柿。食べたことがない人も、ぜひ一度味わって

ほしい」と話した。

同部会では生産者35人が「蓮台寺柿」を栽培する。作付面積は約13畝に達する。

「蓮台寺柿」は、伊

勢神宮のお膝元である同市で約350年前から栽培される。「みえの伝統果実」や、県内の個性的でビジネス価値のある農林水産資源と



色や大きさを確認しながら選果を行う作業員

(26日、三重県伊勢市で)

して「三重のバイオト」など、市場や消費者の「レジャー」に選ばれる評判は高い。